

道内の感染状況等について

【令和4年11月18日】

主な指標の状況

		移行指標			その他指標	
11/17	レベル	病床 使用率	重症病床 使用率	10万人当たり 新規 感染者数	新規 感染者数 今週先週比	陽性率
全道	2	47.0% (1074床) ↑	8.6% (10床) ↑	1123.1人/週 (58216人/週) ↑	1.23 ↑	68.8% ↑
	2	49.9% (365床) ↑	6.1% (3床) ↑	1188.6人/週 (23305人/週) ↑	1.31 ↑	108.8% ↓
	2	45.7% (709床) ↑	10.4% (7床) ↑	1083.2人/週 (34911人/週) ↑	1.19 ↑	55.2% ↑
レベル2 移行指標		20%	又は 20%	15人/週		
レベル3 移行指標		50%	又は 50%	—		

※()は実数。各指標の動向(矢印)は、1週間前との比較。

(注)・令和4年9月26日以降、全数届出の見直しに伴い、「療養者数」、「感染経路不明割合」が全体として把握できなくなったため、公表していない。

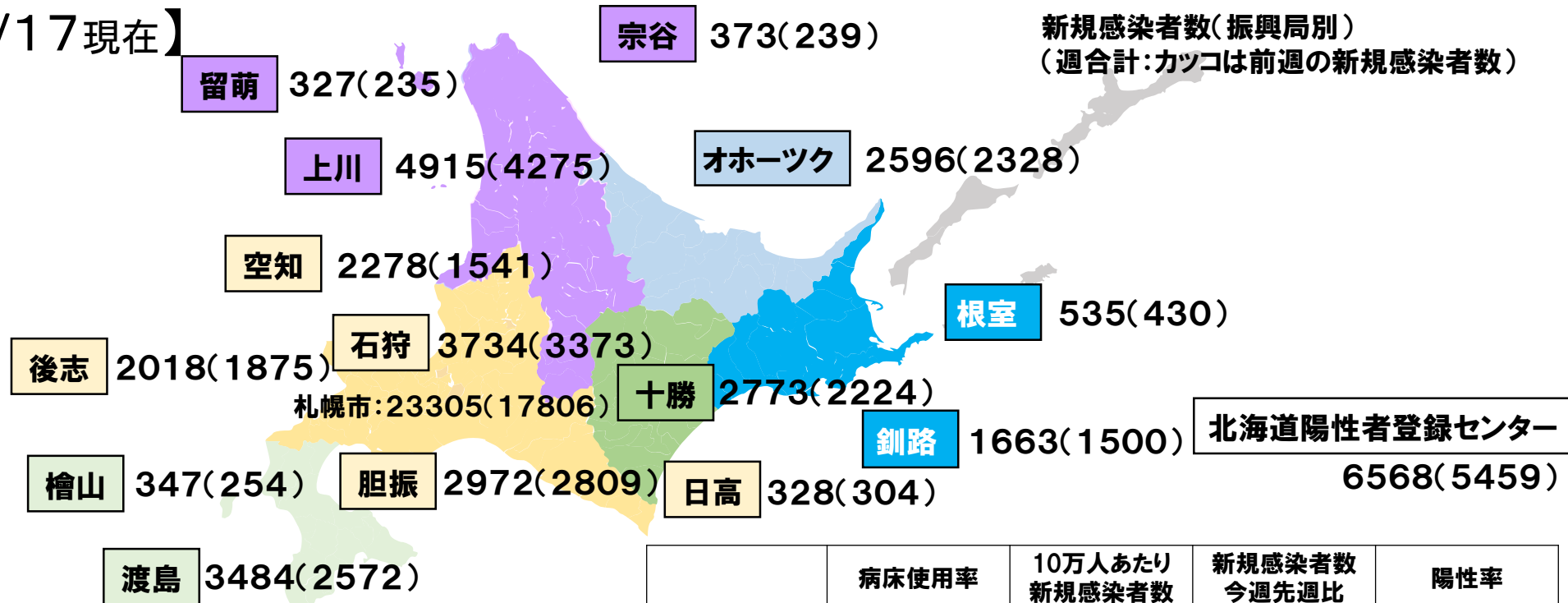
・レベル分類については、国に対し新たな考え方を示すよう求めており、示されるまでの間は、公表しなくなった指標を除いて運用する。

・全道及び札幌市を除く地域の陽性率については、高齢者施設等の従事者に対する頻回検査数を含めて算出。

・検査数に無料検査、抗原キット自己検査等を含まないため、陽性率が100%を上回る場合がある。

地域における主な指標の状況

【11/17現在】



	病床使用率	10万人あたり 新規感染者数	新規感染者数 今週先週比	陽性率
札幌市	49.9% (365床)	1188.6人/週 (23305人/週)	1.31	108.8%
道央圏 (札幌市除く)	50.1% (249床)	847.3人/週 (11330人/週)	1.14	43.4%
道北圏	53.3% (178床)	965.6人/週 (5615人/週)	1.18	49.0%
道南圏	38.6% (86床)	931.9人/週 (3831人/週)	1.36	42.6%
十勝圏	40.9% (70床)	835.5人/週 (2773人/週)	1.25	48.1%
オホーツク圏	38.5% (52床)	963.7人/週 (2596人/週)	1.12	39.7%
釧路・根室圏	38.3% (74床)	752.8人/週 (2198人/週)	1.14	50.3%

※地域別の病床使用率や新規感染者数等の数値は、変動が大きくなる場合があることに留意。
 ※令和4年9月26日以降、全数届出の見直しに伴い、振興局別(圏域別)の新規感染者数は届出があった医療機関の所在地別となっている。また、「療養者数」、「感染経路不明割合」が全体として把握できなくなったため、公表していない。
 ※札幌市以外の各圏域の陽性率については、高齢者施設等の従事者に対する頻回検査数を含めて算出。
 ※北海道陽性者登録センター分は地域別の内訳が把握できないため、陽性率の算出には含まれていない。
 ※検査数に無料検査、抗原キット自己検査等を含まないため、陽性率が100%を上回る場合がある。

総評 ①

【全国の様況】

○ 全国では、新規感染者数の増加傾向が続き、ほぼ全ての地域で先週比が1を上回っている。国の専門家からは、今後も増加の継続が見込まれており、この傾向が続けば、今夏のような感染拡大となる可能性がある、と指摘されている。北海道は10月26日以降、10万人当たりの新規感染者数が全国最多の様況が続いている。

※参考：11月17日、新規感染者数先週比 山形1.15、東京1.25、大阪1.16、福岡1.27（北海道調べ）

【医療提供体制】

○ 病床使用率については、47.0%と、増加傾向が続いている。また、札幌市についても49.9%となっており、いずれも今夏のピークを超えている。また、地域においては、道北圏で高い水準となっている。重症病床使用率は増加しており、8.6%となっている。

【感染様況】

○ 新規感染者数は、人口10万人当たりでは1123.1人となっており、11月12日以降、1,000人を超える様況が続いている。年代別では、約6割を占めている30代以下の割合が減少し、その他の年代の割合が増加している。

総評 ②

【今後の対策】

- 11月18日、政府対策本部において、新型コロナウイルス感染症対策分科会の議論を踏まえ、「今秋以降の感染拡大で保健医療の負荷が高まった場合の対応について」が決定された。一方で、国の基本的対処方針は、今後、変更される見通しとなったことから、その変更内容を確認していく必要がある。
- 本道の10万人当たりの新規感染者数は、11月11日以降、過去最多を更新する状況が続き、病床使用率も50%に近づくなど、増加傾向が続いていることから、分科会が示した、感染が著しい地域での呼びかけについて、11月15日の知事記者会見において、政府対策本部の決定や、基本的対処方針の変更を待たず、対策を強化いただくよう、道民の皆様をお願いした。

〈現在の感染状況において道民の皆様へ対策を強化していただきたいこと〉

- 基本的な感染対策の再徹底（「三つの密の回避、手洗い等の手指衛生、効果的な換気等）
- 普段と異なる症状がある場合、外出・出勤・登校・登園を控える
- オミクロン株対応ワクチンの速やかな接種の検討
- 高齢者や基礎疾患を有する方と接する場合など検査を行う
- 混雑した場所への外出など感染拡大につながる行動を控える
- 飲食店では大声や長時間の回避、会話する際のマスクの着用

総評 ③

- 入院患者数の増加に対応するため、11月14日に全道の即応病床をフェーズ3に引き上げた。現在の感染状況に対応し、必要な病床の確保に向け、医療機関との調整を進める。
- 地域の医療機関や高齢者施設等における集団感染等に対応するため、道として、日本DMATに医師の派遣要請を行い、11月9日から道内で活動いただいている。現在(17日)、医師6名に釧路、オホーツク圏域で活動いただいております、引き続き、地域の入院調整や施設等の感染防止対策を進めていく。
- 季節性インフルエンザとの同時流行対策については、外来医療体制の強化等を図る「外来医療体制整備計画案」を、11月14日、国に提出し、国との協議を進めている。今後、医療機関にも協力をいただきながら、診療時間の延長など、地域の実情に即した体制整備を進めていく。なお、今シーズンの季節性インフルエンザについては、未だ流行には至っていない状況にある。

※全道のインフルエンザ定点報告 (11/7~13)3件、(今シーズン9/5~11/13)20件

- 道内の流行株は、BA.5系統が主流となっているが、本日、道内初となるBQ.1.1系統の感染が札幌市で確認された。国の専門家からは、オミクロン株の亜系統については、今後、さらに割合が増加する可能性があり注視が必要、と指摘されており、引き続き、ゲノム解析により、道内における動向を監視していく。

※欧米では、BQ.1系統やBQ.1.1系統の占める割合が増加している国もあり、今後、さらに割合が増加することが見込まれているが、現時点では感染者数の顕著な増加は確認されていない。(R4.11.17 新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード)

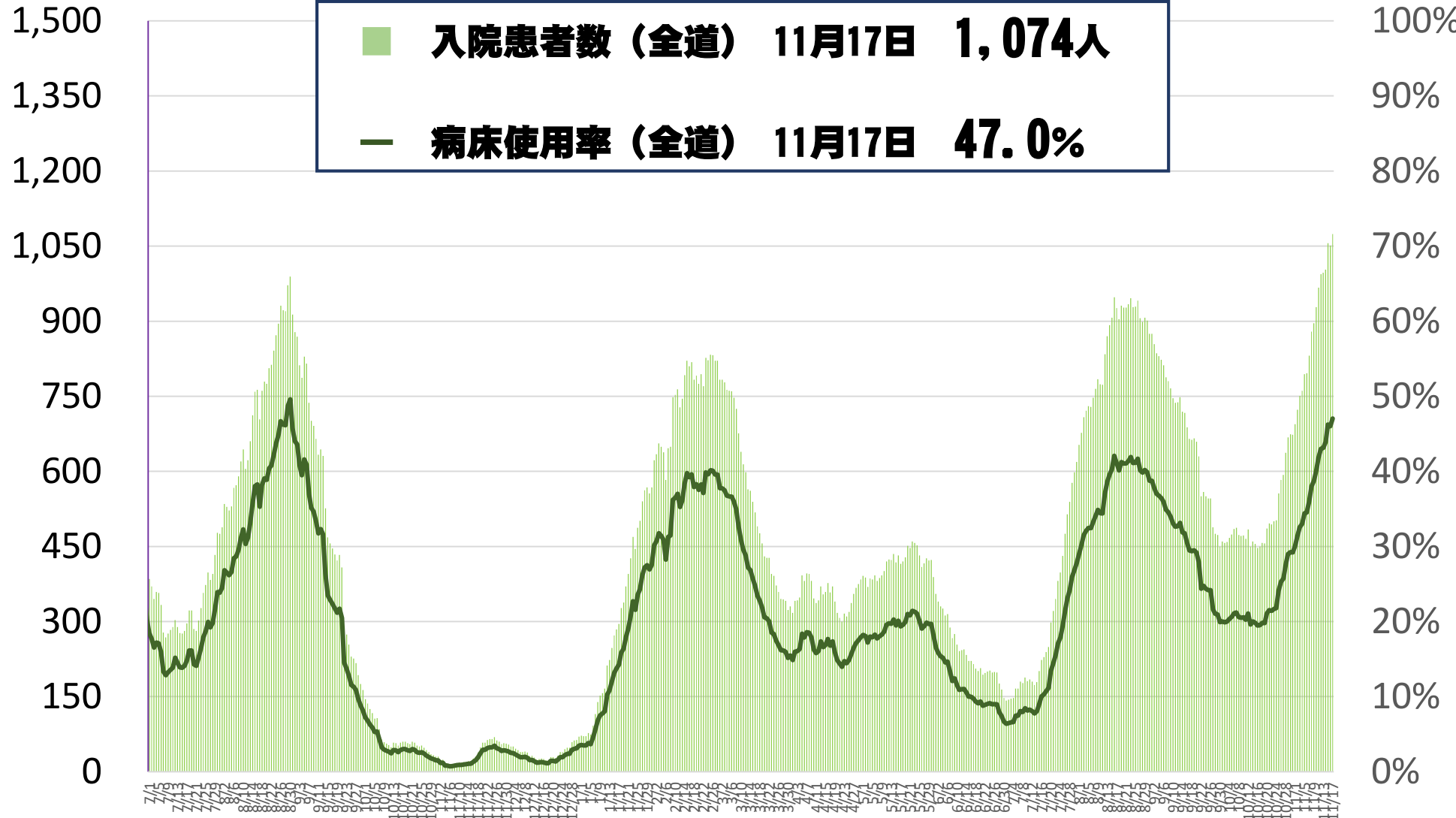
総評 ④

- オミクロン株対応ワクチンの接種については、11月、12月が接種のピークを迎えることから、年内に希望する方全員が接種いただけるよう、先行事例等の情報提供を行うなど、市町村への支援に努める。また、12歳以上の若年者に対しては、学校と連携した情報発信を強化するなど、様々な世代に接種を検討いただけるよう、ターゲットに合わせた集中的広報を展開する。
- 無料検査事業については、12月末まで期間を延長することとする。
- 国の分科会で議論されているオミクロン株に対応したレベルや対策の見直しについては、基本的対処方針の速やかな変更、総理から国民に対する必要な呼びかけを全国一律で実施することなどについて、病床確保料の見直しに関する柔軟な運用と併せて、11月16日には厚生労働大臣と意見交換するとともに、17日には全国知事会で議論を行い、18日には関係省庁に対し、要請を行った。
- 11月16日、道の有識者会議を開催し、これまでの対応状況や、国の動きを踏まえた対応方向について、ご意見を伺い、総じて異論は無かったものの、分かりやすい情報発信、ワクチン接種の推進、感染防止対策の徹底と社会経済活動との両立などが課題といったご意見をいただいたところであり、こうした意見も踏まえ、取組を進めていく。

入院患者数と病床使用率（全道）

入院患者数（人）

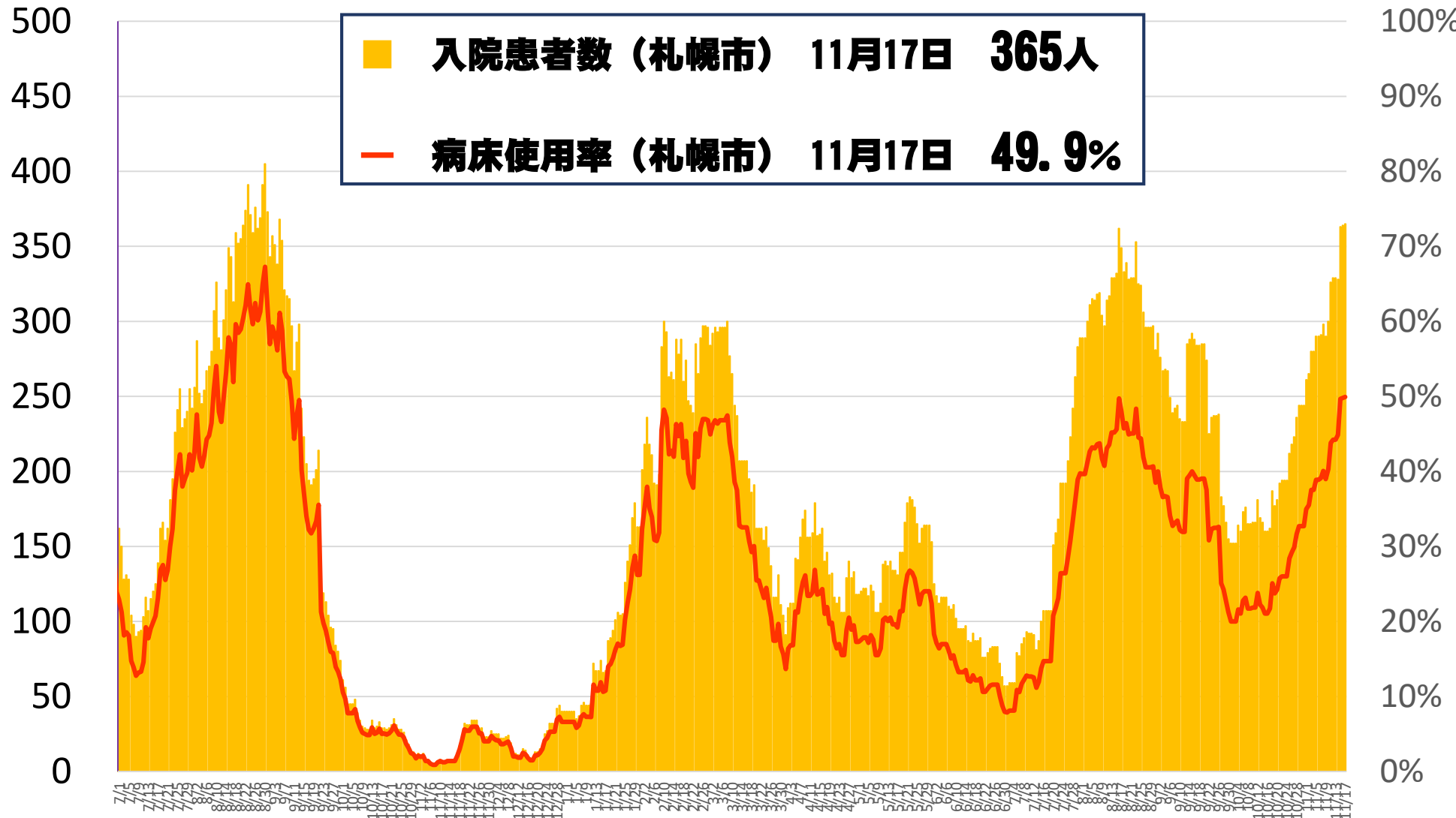
病床使用率



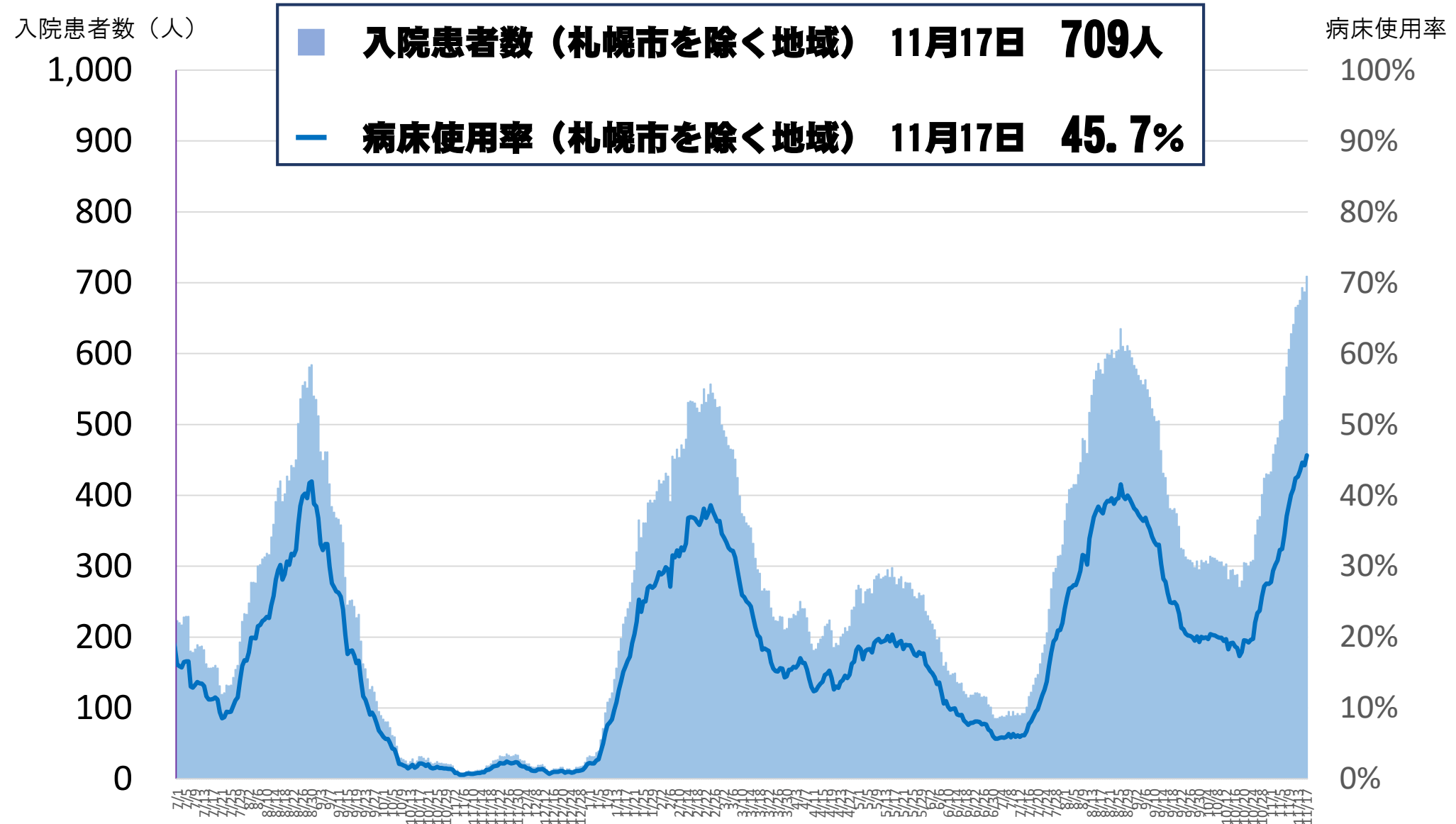
入院患者数と病床使用率（札幌市）

入院患者数（人）

病床使用率



入院患者数と病床使用率（札幌市を除く地域）



重症者数と重症病床使用率（全道）

重症者数（人）

病床使用率



重症者数と重症病床使用率（札幌市）

重症者数（人）

病床使用率

25

50%

■ 重症者数（札幌市）

11月17日 3人

— 重症病床使用率（札幌市）

11月17日 6.1%

20

40%

15

30%

10

20%

5

10%

0

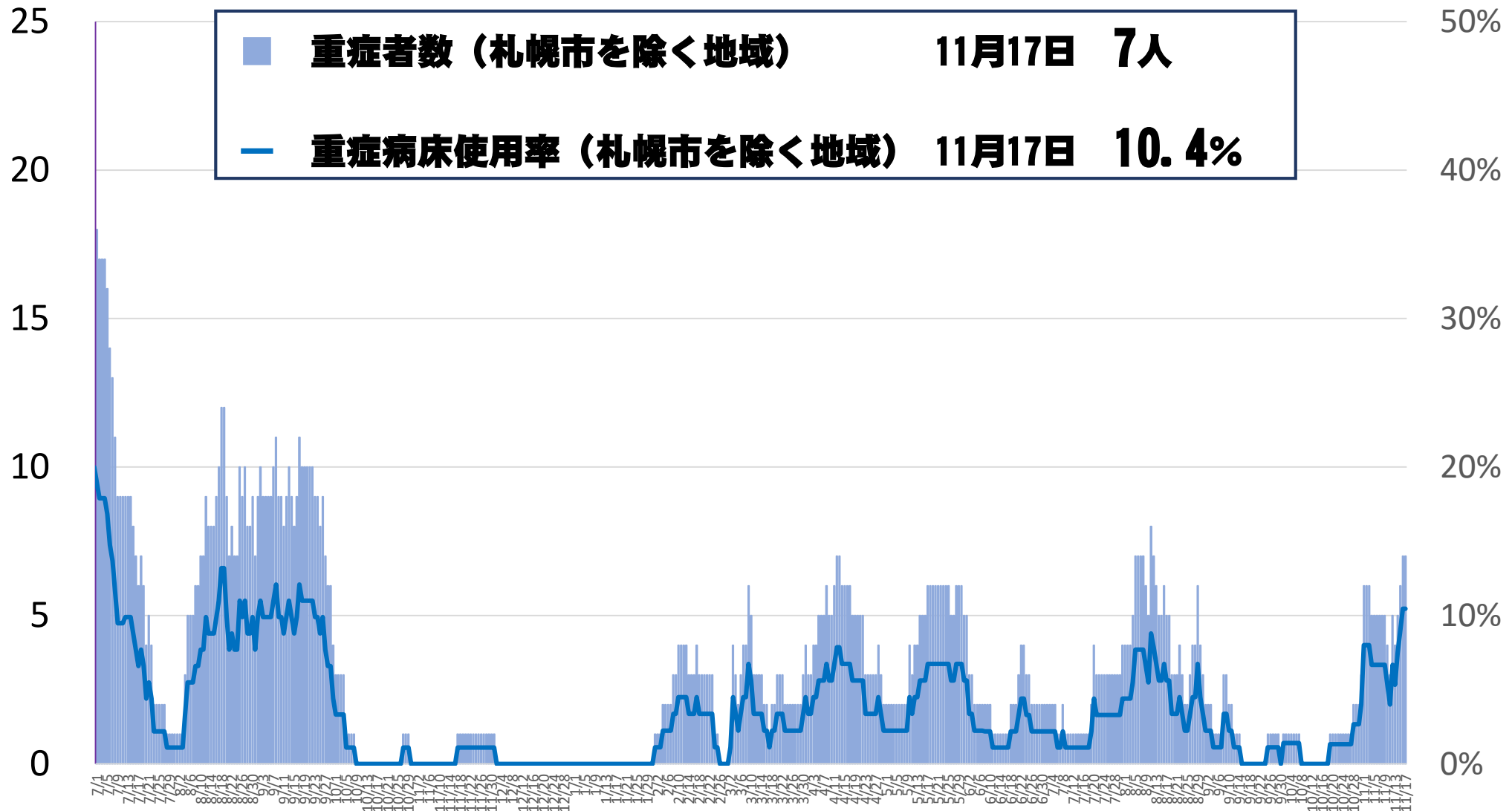
0%

2023/11/17 11:00

重症者数と重症病床使用率（札幌市を除く地域）

重症者数（人）

病床使用率

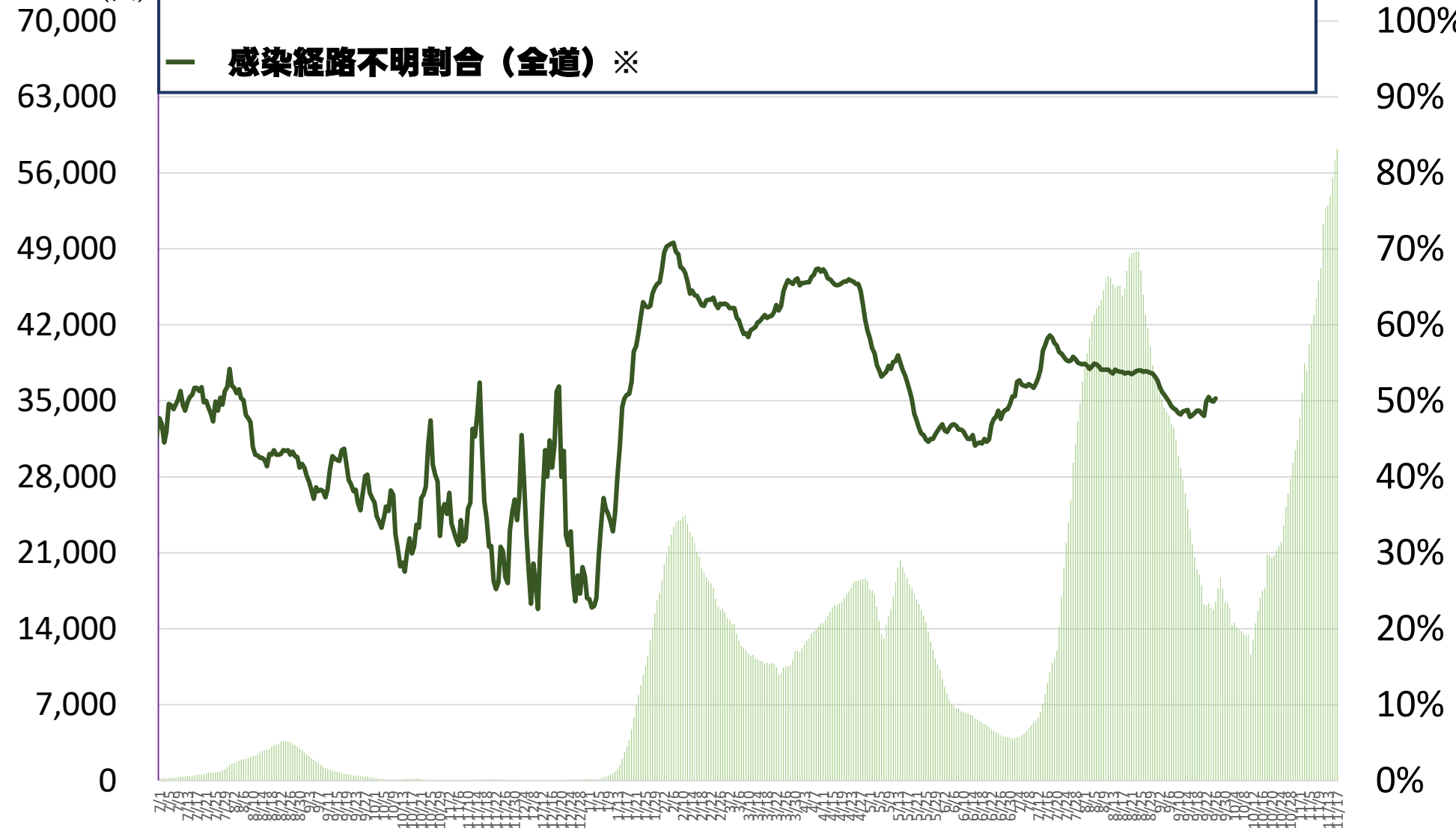


新規感染者数（全道）

新規感染者数
(7日間合計)
(人)

■ 新規感染者数（全道） 11月17日 58,216人（10万人あたり1123.1人）
— 感染経路不明割合（全道）※

感染経路不明割合
(7日間平均)



※令和4年9月26日以降、全数届出の見直しに伴い、「感染経路不明割合」が全体として把握できなくなったため、公表していない。

新規感染者数（札幌市）

新規感染者数
(7日間合計)
(人)

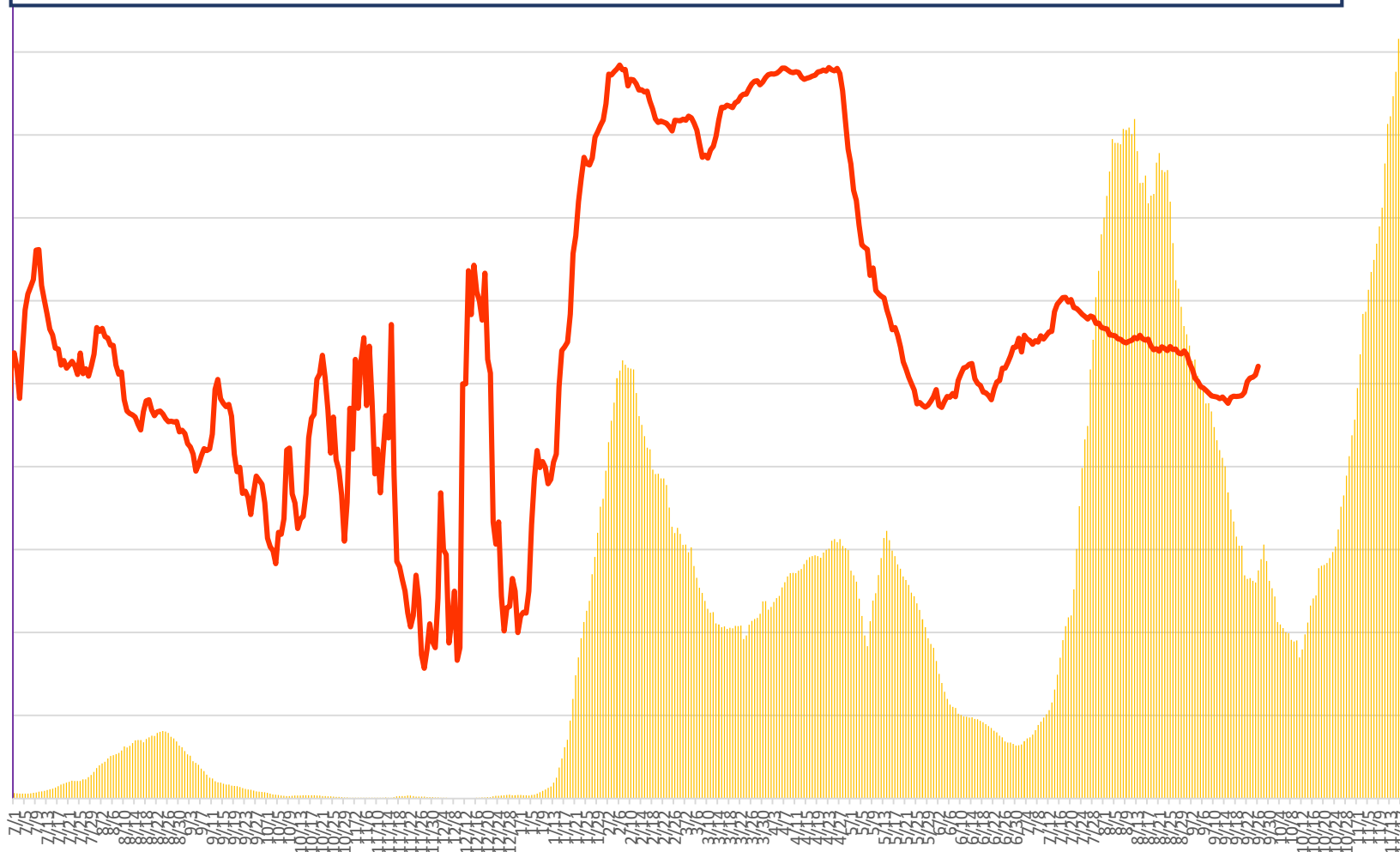
■ **新規感染者数（札幌市） 11月17日 23,305人（10万人あたり1188.6人）**

— **感染経路不明割合（札幌市）※**

感染経路不明割合
(7日間平均)

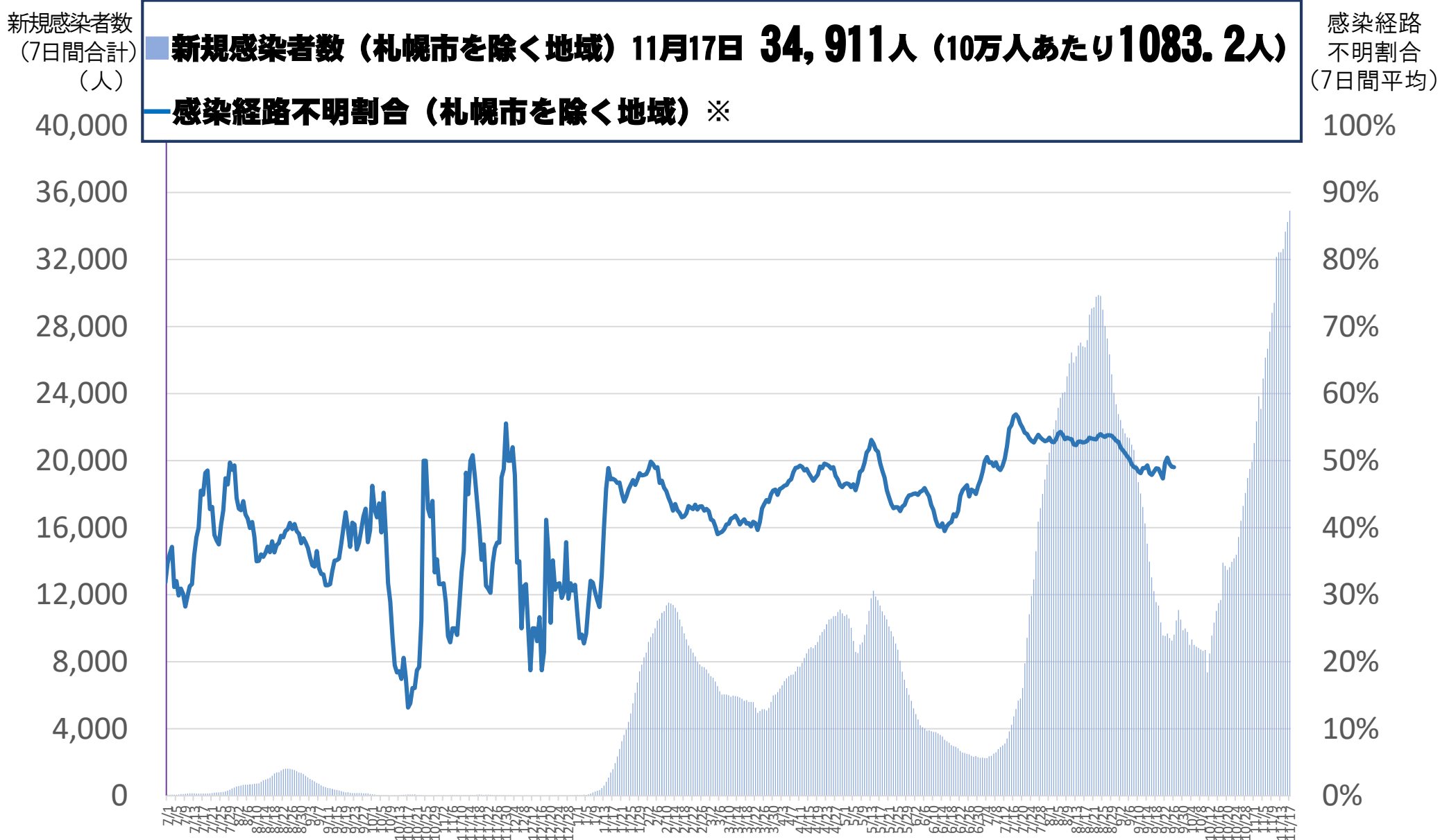
25,000
22,500
20,000
17,500
15,000
12,500
10,000
7,500
5,000
2,500
0

100%
90%
80%
70%
60%
50%
40%
30%
20%
10%
0%



※令和4年9月26日以降、全数届出の見直しに伴い、「感染経路不明割合」が全体として把握できなくなったため、公表していない。

新規感染者数（札幌市を除く地域）



※令和4年9月26日以降、全数届出の見直しに伴い、「感染経路不明割合」が全体として把握できなくなったため、公表していない。

検査数と陽性率（全道）

検査数（人）
（7日間合計）

■ 検査数（全道） 11月17日 **84,667人**
— 陽性率（全道） 11月17日 **68.8%**

陽性率
（7日間平均）
100%

100,000

90,000

80,000

70,000

60,000

50,000

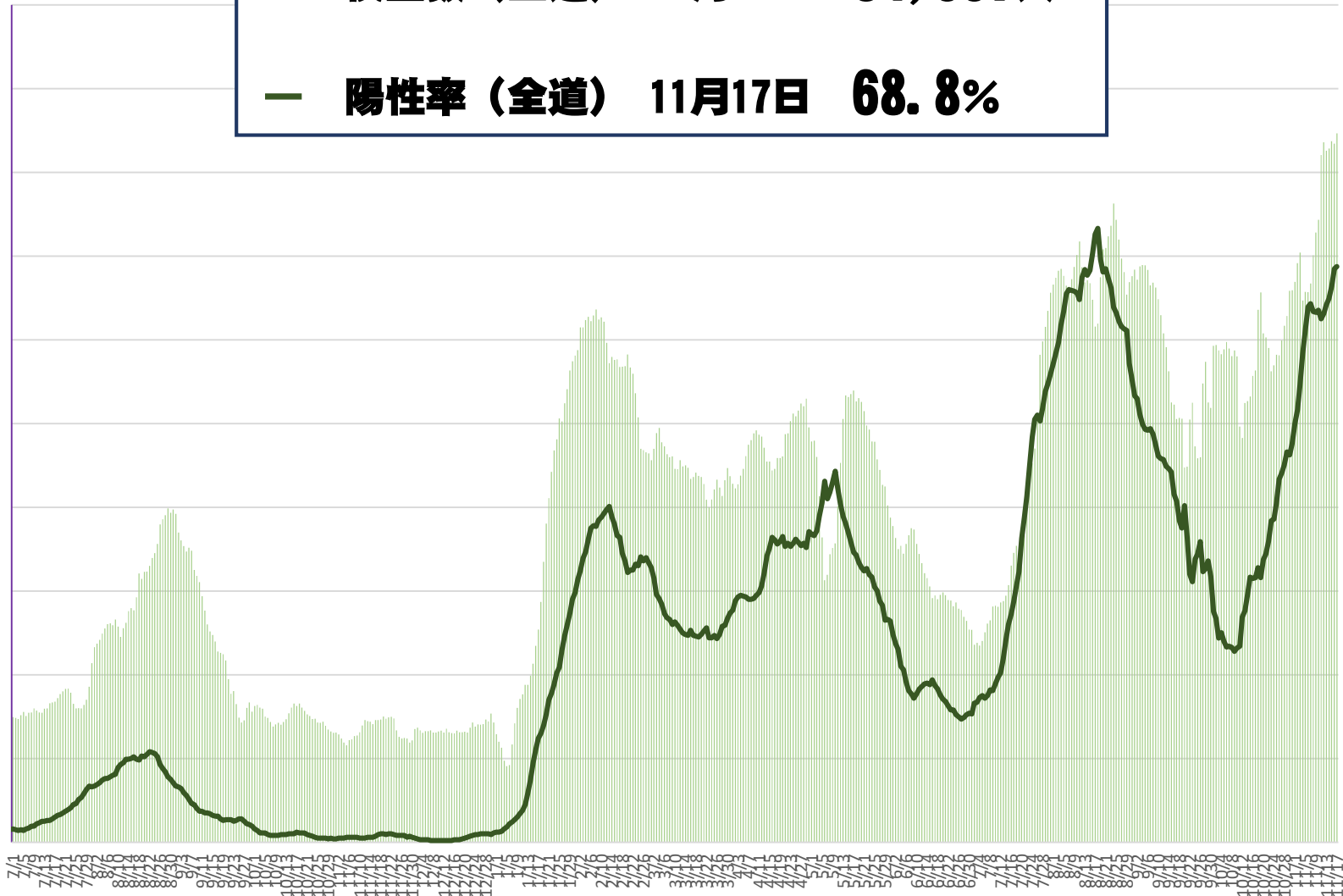
40,000

30,000

20,000

10,000

0



※検査数には、札幌市を除く地域における高齢者施設等の従事者に対する頻回検査数を含む。

また、検査数に無料検査、抗原キット自己検査等を含まないため、陽性率が100%を上回る場合がある。

検査数と陽性率（札幌市）

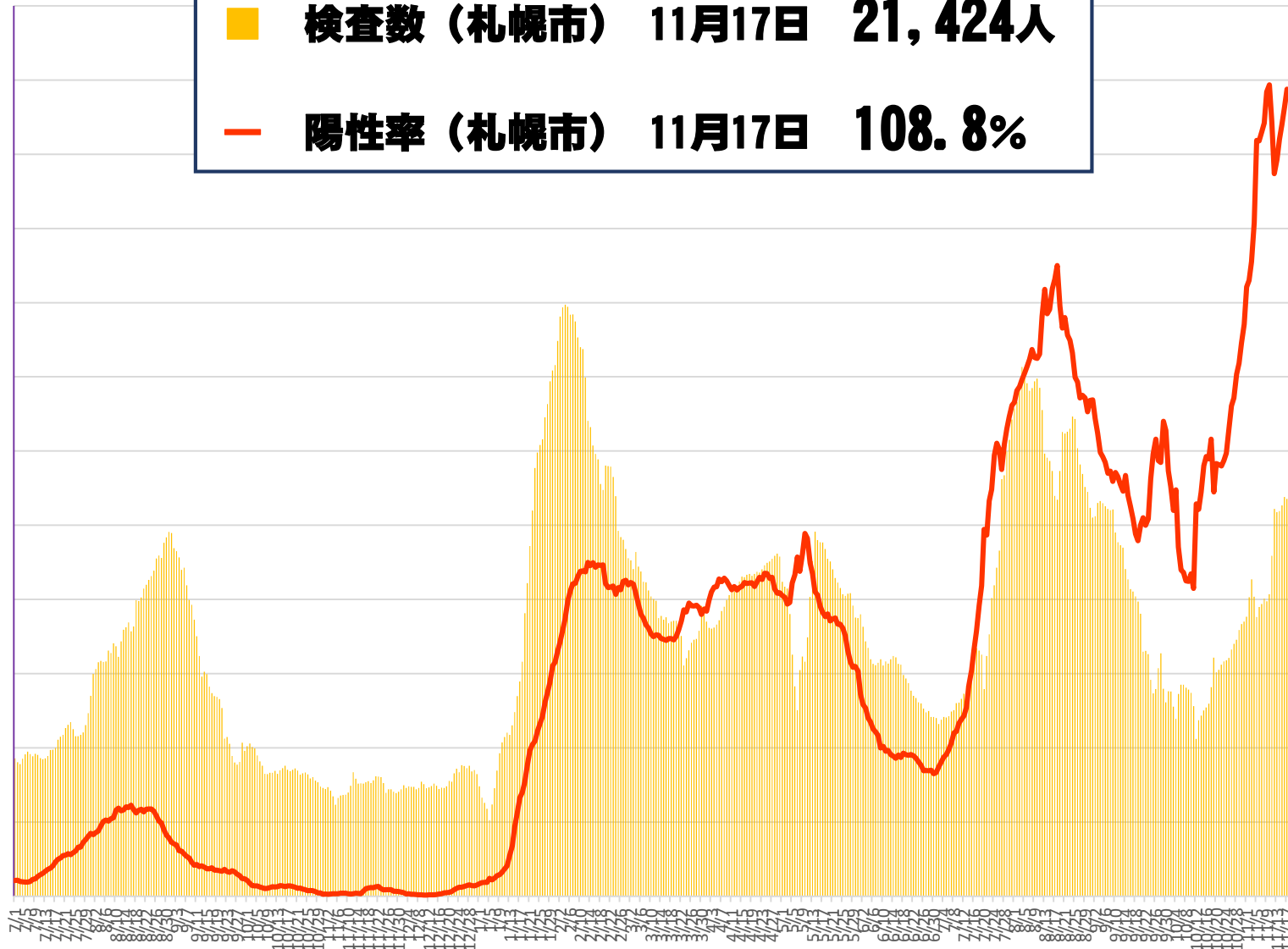
検査数（人）
（7日間合計）

陽性率
（7日間平均）

48,000
44,000
40,000
36,000
32,000
28,000
24,000
20,000
16,000
12,000
8,000
4,000
0

120%
110%
100%
90%
80%
70%
60%
50%
40%
30%
20%
10%
0%

■ **検査数（札幌市） 11月17日 21,424人**
— **陽性率（札幌市） 11月17日 108.8%**



※検査数に無料検査、抗原キット自己検査等を含まないため、陽性率が100%を上回る場合がある。

検査数と陽性率（札幌市を除く地域）

検査数（人）
（7日間合計）

陽性率
（7日間平均）

70,000

63,000

56,000

49,000

42,000

35,000

28,000

21,000

14,000

7,000

0

■ **検査数（札幌市を除く地域）** 11月17日 **63,243人**
— **陽性率（札幌市を除く地域）** 11月17日 **55.2%**

100%

90%

80%

70%

60%

50%

40%

30%

20%

10%

0%

※検査数には、高齢者施設等の従事者に対する頻回検査数を含む。

また、検査数に無料検査、抗原キット自己検査等を含まないため、陽性率が100%を上回る場合がある。

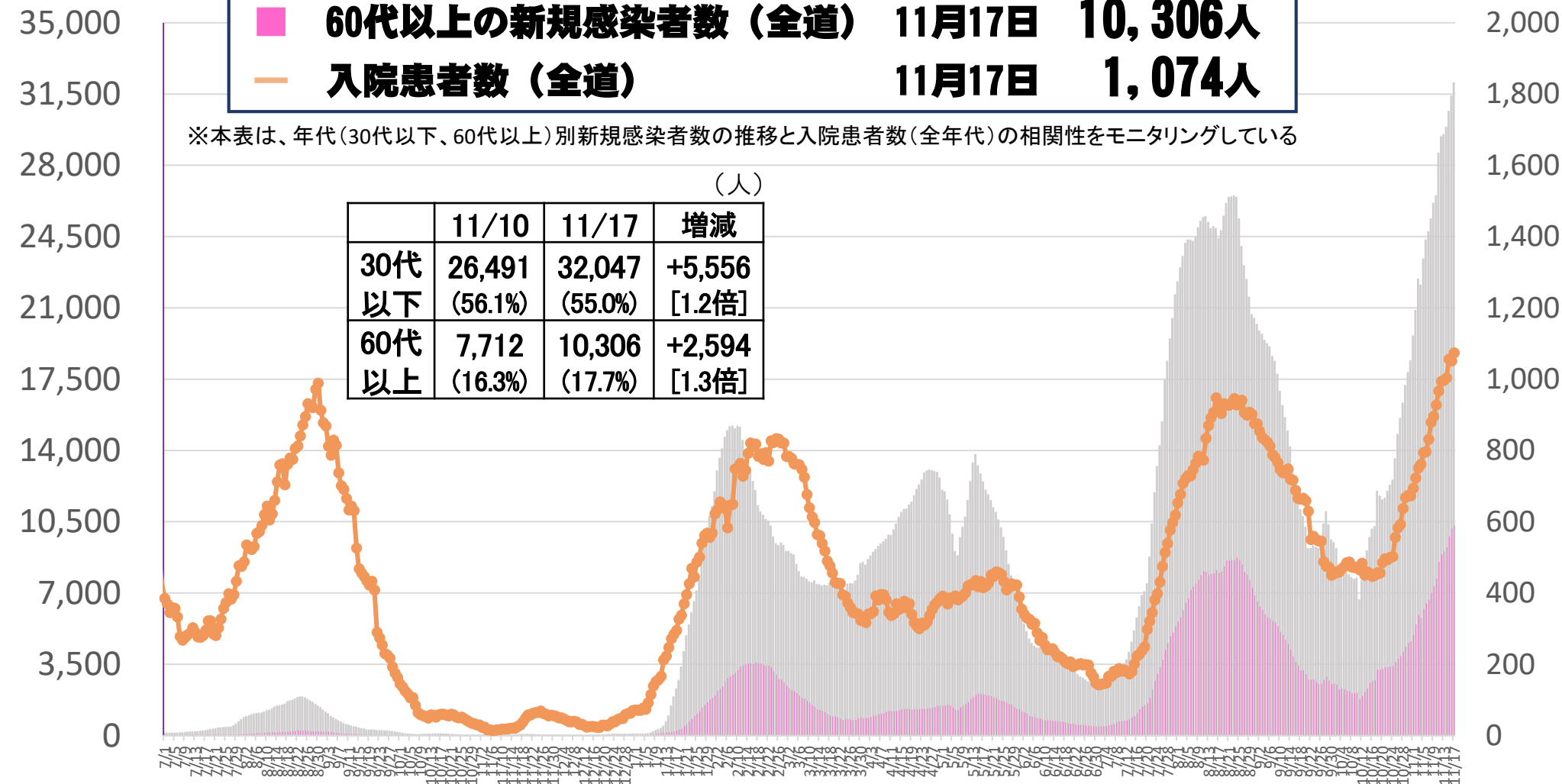
年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数(全道)

新規感染者数(人)
(7日間合計)

入院患者数
(人)

■	30代以下の新規感染者数(全道)	11月17日	32,047人
■	60代以上の新規感染者数(全道)	11月17日	10,306人
—	入院患者数(全道)	11月17日	1,074人

※本表は、年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数の推移と入院患者数(全年代)の相関性をモニタリングしている



(参考)

	11/10	11/17	増減	(人)
10代	8,521 (18.0%)	9,932 (17.1%)	+1,411 [1.2倍]	

(新規感染者のうち年齢不明分を除き集計)

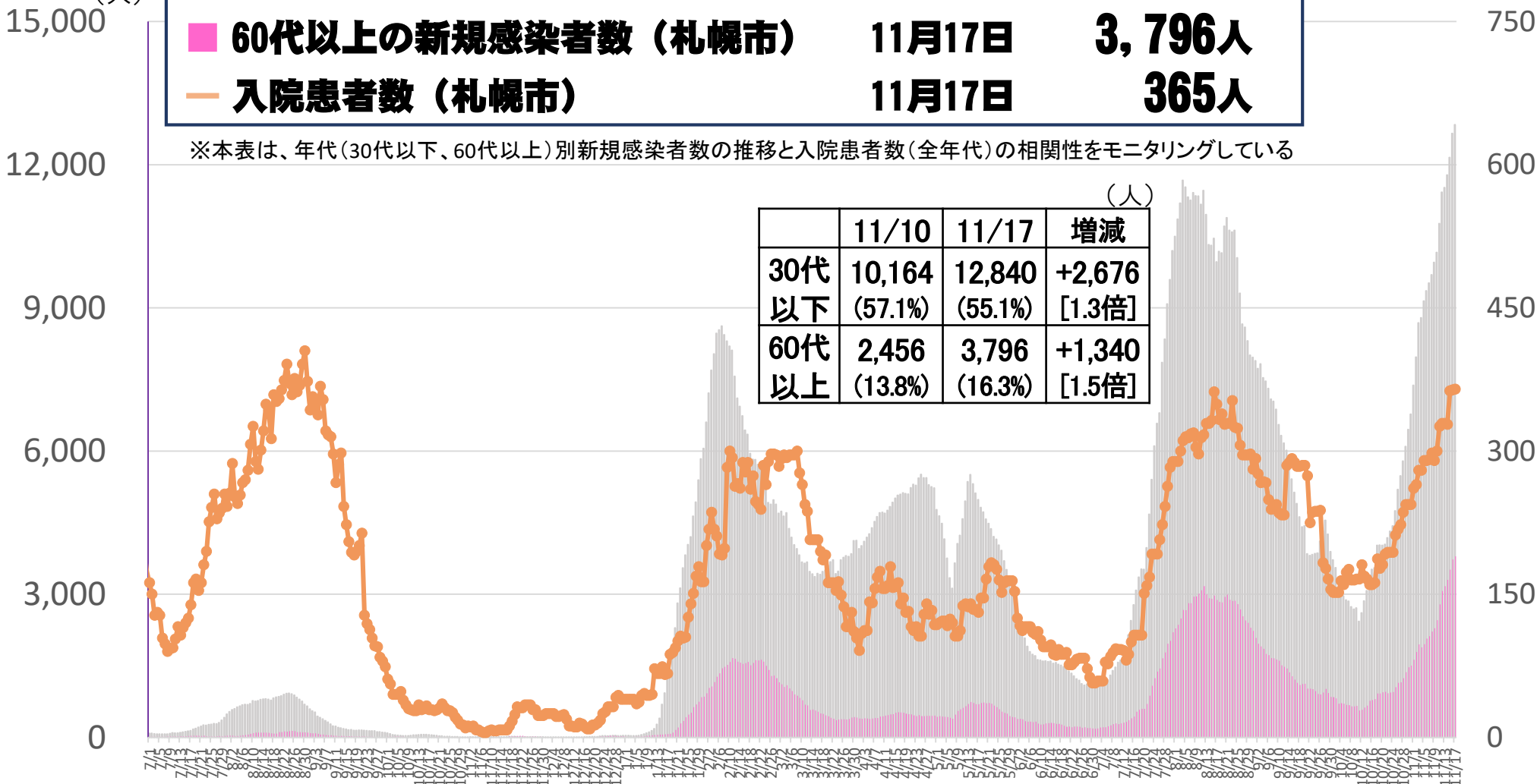
年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数(札幌市)

新規感染者数
(7日間合計)
(人)

入院患者数
(人)

■ 30代以下の新規感染者数 (札幌市)	11月17日	12,840人
■ 60代以上の新規感染者数 (札幌市)	11月17日	3,796人
— 入院患者数 (札幌市)	11月17日	365人

※本表は、年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数の推移と入院患者数(全年代)の相関性をモニタリングしている



	11/10	11/17	増減
30代以下	10,164 (57.1%)	12,840 (55.1%)	+2,676 [1.3倍]
60代以上	2,456 (13.8%)	3,796 (16.3%)	+1,340 [1.5倍]

(参考) (人)

	11/10	11/17	増減
10代	3,077 (17.3%)	3,773 (16.2%)	+696 [1.2倍]

(新規感染者のうち年齢不明分を除き集計)

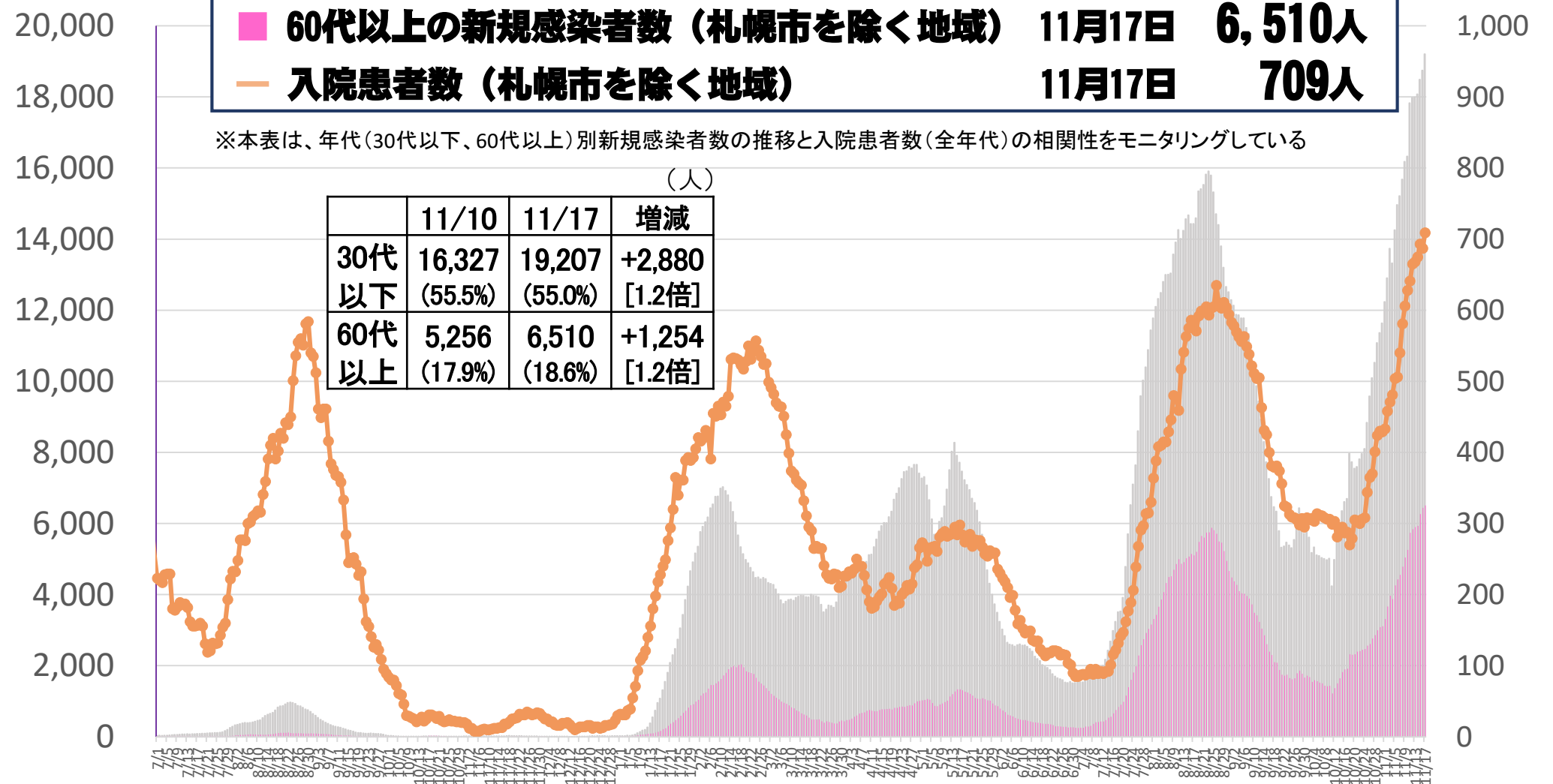
年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数(札幌市を除く地域)

新規感染者数
(7日間合計)(人)

■ **30代以下の新規感染者数 (札幌市を除く地域)** 11月17日 **19,207人**
 ■ **60代以上の新規感染者数 (札幌市を除く地域)** 11月17日 **6,510人**
 — **入院患者数 (札幌市を除く地域)** 11月17日 **709人**

入院患者数
(人)

※本表は、年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数の推移と入院患者数(全年代)の相関性をモニタリングしている



	11/10	11/17	増減
30代以下	16,327 (55.5%)	19,207 (55.0%)	+2,880 [1.2倍]
60代以上	5,256 (17.9%)	6,510 (18.6%)	+1,254 [1.2倍]

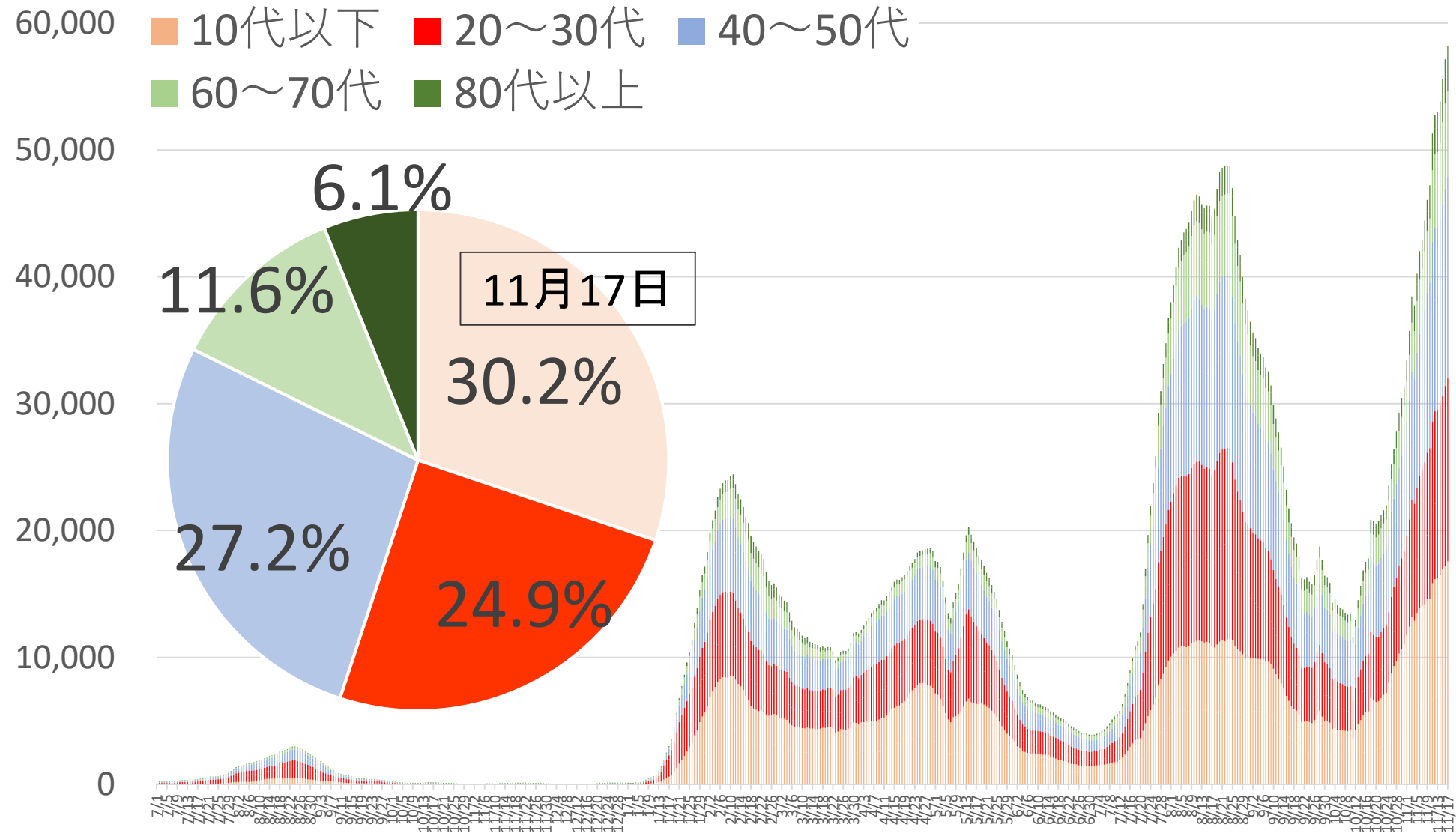
(参考)

	11/10	11/17	増減
10代	5,444 (18.5%)	6,159 (17.6%)	+715 [1.1倍]

(新規感染者のうち年齢不明分を除き集計)

年代別新規感染者割合と推移(全道)

感染者数(人)
(7日間合計)



(新規感染者のうち年齢不明分を除き集計)

集団感染の発生状況(医療施設・福祉施設)

	10/28~11/3			11/4~10			11/11~17		
	合 計		福祉施設	合 計		福祉施設	合 計		福祉施設
		医療施設			医療施設			医療施設	
全 道	116件	19件	97件	150件	30件	120件	171件	22件	149件
札幌市	29件	—	29件	21件	—	21件	49件	—	49件
札幌市を除く地域	87件	19件	68件	129件	30件	99件	122件	22件	100件

※令和4年9月26日以降、集団感染については、発生時以降の増加人数を公表していないため、件数のみを掲載している。

新型コロナウイルスワクチン接種の取組状況等について(接種率等)

1 ワクチン接種状況(医療従事者等分を含む。11/16現在)

<オミクロン株対応ワクチン接種の状況>

区分	接種者数	接種率	<参考> 区分	接種者数	接種率
北海道	619,728	12.0%	全国	14,427,445	11.5%
うち65歳以上	190,980	11.4%	うち65歳以上	4,718,201	13.1%

<接種回数毎の接種の状況 ※全年代(5歳以上11歳以下の小児への接種分を含む)>

区分	1回目		2回目		3回目		4回目		5回目	
	接種者数	接種率	接種者数	接種率	接種者数	接種率	接種者数	接種率	接種者数	接種率
北海道	4,341,910	83.8%	4,280,600	82.6%	3,580,619	69.1%	2,134,486	41.2%	121,322	2.3%
うち65歳以上	1,581,522	94.5%	1,577,459	94.2%	1,520,959	90.8%	1,342,270	80.2%	111,437	6.7%
うち小児	59,473	22.1%	56,626	21.1%	13,509	5.0%	—	—	—	—

※接種率は令和4年1月1日現在住民基本台帳の人口に対する割合。なお、上記はVRSの入力値等に基づくものであり(VRS未入力の場合接種率は含まない。また、1・2回目接種における医療従事者等は首相官邸HP公表値による)、実際の接種率より低い場合等があることに留意。

新型コロナワクチン接種の取組状況等について(接種の促進)

2 ワクチンの種類と接種対象者

区分	ファイザー (乳幼児用)	ファイザー (小児用)	ファイザー	モデルナ	ハバックス	ファイザー (BA.1、BA.4/5)	モデルナ (BA.1、BA.4/5)
ワクチンの種類	従来株				オミクロン株対応2価		
	m-RNA				組換えタンパク	m-RNA	
初回接種 (1、2回目)	2回 (21日間隔)	2回 (21日間隔)	2回 (21日間隔)	2回 (28日間隔)	2回 (21日間隔)	—	—
対象者	6ヶ月以上 4歳以下	5歳以上 11歳以下	12歳以上	12歳以上	12歳以上	—	—
初回接種 (3回目)	1回 (55日間隔)	—	—	—	—	—	—
対象者	6ヶ月以上 4歳以下	—	—	—	—	—	—
追加接種 (3回目)	—	1回 (5ヶ月間隔)	1回 (3ヶ月間隔)	1回 (3ヶ月間隔)	<div style="border: 1px solid green; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;"> いずれかのワクチンを1回接種 </div>		
対象者	—	5歳以上 11歳以下	12歳以上	18歳以上			
追加接種 (4回目)	—	—	1回 (3ヶ月間隔)	1回 (3ヶ月間隔)	初回接種を完了した 18歳以上 の方が対象で1回接種	初回接種を完了した12歳以上の方が対象で1回接種	初回接種を完了した18歳以上の方が対象で1回接種
対象者	—	—	60歳以上や 基礎疾患等	60歳以上や 基礎疾患等			
追加接種 (5回目)	—	—	—	—	前回接種から 6ヶ月 間隔	前回接種から3ヶ月間隔	前回接種から3ヶ月間隔
対象者	—	—	—	—			
その他	10月24日から	—	—	—	11月8日から	—	BA.4/5は 11月28日から

新型コロナウイルスワクチン接種の取組状況等について(接種の促進)

3 北海道ワクチン接種センター

- ノババックスワクチン～12月4日までの予約を受付中であり、11月20日は予約を満たしているものの、その他の日程で空きがある状況。
- オミクロン株対応ワクチン(ファイザー)～予約を満たしている状況。

接種会場	ホテルエミシア札幌（札幌市厚別区厚別中央2条5丁目）						
使用ワクチン	ノババックスワクチン					ファイザー社2価ワクチン(BA.4/5)	
対応接種回数	初回接種		令和4年秋開始接種			令和4年秋開始接種	
	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	3回目	4回目
対象年齢	12歳以上		18歳以上			初回接種を終了した12歳以上	
接種券	道内の市町村が発行した1～5回目用の接種券					道内の市町村が発行した ◆3・4・5回目用の接種券 ◆オミクロン株対応ワクチン用接種券	
実施期間	令和4年10月8日～12月18日までの日曜(10月23日までは土日祝実施)					令和4年10月29日～12月17日までの土曜、祝日	
接種体制	1日当たり、240名					1日当たり、360名	
	協力機関：北海道医師会、札幌医科大学、北海道薬剤師会、北海道看護協会等						
予約受付	WEB：道のホームページからアクセス 電話：050-3851-0181(専用コールセンター)						